学校番号	1101

令和２年度　情報科

教科	専門情報	科目	表現メディアの編集と表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文字・画像・音声を使用し、編集技術と多くの人に見てもらえる表現方法を身につけましょう。

2　学習の到達目標

コンピュータを用いて図形・画像・動画を作成する。
PhotoShop・Illustrator・Premiere の基本的な使用方法について課題制作を通して学習するとともに、作品を制作する

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	コンピュータを用いた表現方法に関心をもち、自ら進んで編集技術を学び、活用しようとする。	表現したものの見方や捉え方を考え、思考を深め、適切に判断し表現している。	表現及び編集技術をかつようするための基礎的・基本的な技能を身につけ適切に取り扱っている。	表現及び編集技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけ表現及び編集技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 課題作品 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 課題作品 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 課題作品 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前	ベクトル画像の２次元ＣＧ	(Illustrator の使い方) ・ インターフェイスの説明 ・ 基本的なツールの使用方法 ・ レイヤーについて ・ トレースを中心とした作品制作	○	○	○	○	a: Illustrator に興味を持って参加しようとしているか。 b: 状況に応じて正しくツールの使用できるか。 c: Illustrator の特徴等を考えながら活用する技能があるか。 d: Illustrator の特性や扱い方を理解できるか。	授業観察 ワークシート 実習作品 課題作品
前	ビットマット画像の２次元ＣＧ	(Photoshop の使い方) ・ インターフェイスの説明 ・ 基本的なツールの使用方法 ・ 写真加工 ・ ロゴデザイン	○	○	○	○	a: Photoshop に興味を持って参加しようとしているか。 b: 状況に応じて正しくツールの使用できるか。 c:加工などをし、適切に表現する技術があるか。 d: Photoshop の特性や扱い方を理解できるか。	授業観察 ワークシート 実習作品 課題作品
前	映像処理ソフト	（Premier Pro の使い方） ・ インターフェイスの説明 ・ 動画・画像の取り込み ・ 画像、動画、音声、の切り取りと貼り付け ・ アニメーションの作成	○	○	○	○	a: Premier Pro に興味を持って参加しようとしているか。 b: 状況に応じて正しくツールの使用できるか。 c: Premier Pro の特徴等を考えながら活用する技能があるか。 d: Premier Pro の特性や扱い方を理解できるか。	授業観察 ワークシート 実習作品 課題作品
後	映像処理ソフト	・ 文字の挿入 ・ フェードインとフェードアウトの挿入 ・ 画像の合成 ・ レンダリング処理	○	○	○	○	a: Premier Pro に興味を持って参加しようとしているか。 b: 状況に応じて正しくツールの使用できるか。 c: Premier Pro の特徴等を考えながら活用する技能があるか。 d: Premier Pro の特性や扱い方を理解できるか。	授業観察 ワークシート 実習作品 課題作品

後	作品制作	Premier Pro の知識を基にオリジナルのムービーの作成 Illustrator と Photoshop を用いて総合的な作品制作	○	○	○	○	a:積極的に作品制作を行っているか。 b: 状況に応じて正しくツールの使用できるか。 c: それぞれのソフトの特徴等を考えながら活用する技能があるか。 d: それぞれのソフトの特性や扱い方を理解できるか。	授業観察 課題作品 相互評価 自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。